

平成12年9月20日

各位

本社所在地 大阪市中央区平野町3丁目1番3号
会社名 株式会社 カブコン
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 辻本 憲三
コード番号 9697
決算期 3月31日(中間決算9月30日)
連絡者の役職・氏名 専務取締役 大島 平治
電話番号 (06)6920-3605

業績予想の修正について

1. 連結業績予想の修正について

(1)平成13年3月期(平成12年4月1日~平成13年3月31日)の連結業績予想については、平成12年5月19日連結決算発表時の業績予想を下表のとおり修正いたします。

中間期(平成12年4月1日~平成12年9月30日)

| | 単位 | 売上高 | 経常利益 | 当期利益 |
|------------|-----|--------|-------|-------|
| 前回予想(A) | 百万円 | 22,200 | 2,100 | 1,600 |
| 今回修正(B) | 百万円 | 20,000 | 2,600 | 1,660 |
| 増減額(B)-(A) | 百万円 | 2,200 | 500 | 60 |
| 増減率 | % | 9.9 | 23.8 | 3.8 |

通期(平成12年4月1日~平成13年3月31日)

| | 単位 | 売上高 | 経常利益 | 当期利益 |
|------------|-----|--------|-------|-------|
| 前回予想(A) | 百万円 | 48,000 | 8,400 | 6,000 |
| 今回修正(B) | 百万円 | 48,000 | 8,400 | 6,000 |
| 増減額(B)-(A) | 百万円 | 0 | 0 | 0 |
| 増減率 | % | | | |

(2)上記修正の理由は以下のとおりであります。

当中間期は、当社（単体）の業績予想修正により、売上高は減少するものの、主要な連結子会社であるカプコンU.S.A.が「バイオハザード コード：ベロニカ」（ドリームキャスト用）の好伸や「ディノクライシス2」（プレイステーション用）の前倒し投入などにより堅調に推移しているため、経常利益、当期利益とも当初の予想を上回る見込みであります。通期につきましては、下期における当社（単体）業績の回復に加え、安定したカプコンU.S.A.の動向などにより、売上高、経常利益、当期利益とも当初の予想を達成できる見込みであります。

(3)ご 参 考 前期の実績（平成11年4月1日～平成12年3月31日）

（単位：百万円）

| | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当 期 利 益 |
|-----|--------|---------|---------|
| 通 期 | 51,574 | 8,741 | 9,700 |

2.業績（単独）予想の修正について

(1)平成13年3月期（平成12年4月1日～平成13年3月31日）の業績予想については、平成12年5月19日決算発表時の業績予想を下表のとおり修正いたします。

中間期（平成12年4月1日～平成12年9月30日）

| | 単 位 | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当 期 利 益 |
|------------|-----|--------|---------|---------|
| 前 回 予 想（A） | 百万円 | 18,000 | 1,000 | 600 |
| 今 回 修 正（B） | 百万円 | 15,000 | 1,000 | 600 |
| 増減額（B）-（A） | 百万円 | 3,000 | 0 | 0 |
| 増 減 率 | % | 16.7 | | |

通 期（平成12年4月1日～平成13年3月31日）

| | 単 位 | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当 期 利 益 |
|------------|-----|--------|---------|---------|
| 前 回 予 想（A） | 百万円 | 41,000 | 6,000 | 3,500 |
| 今 回 修 正（B） | 百万円 | 41,000 | 6,000 | 3,500 |
| 増減額（B）-（A） | 百万円 | 0 | 0 | 0 |
| 増 減 率 | % | | | |

(2)上記修正の理由は以下のとおりであります。

当中間期は、業務用ソフトが原材料の不足等により軟調に推移するとともに、「着メロコレクション」等の通信関連事業の本格的なレンタル、販売展開ならびにパチンコ機向け

液晶表示装置の大部分が許認可の遅延等により下期にずれ込むため、売上高は当初の予想を下回るものの、好採算の海外向け販売が順調に伸長しているため、経常利益および当期利益は当初計画を達成できる見込みであります。

通期につきましては、下期に上述の事業展開がいずれも反転することに加え、プレイステーション2向け大作ソフトの「鬼武者」の投入や直販体制の浸透などにより増勢に転じるため、上期の落ち込みを穴埋めすることができ、売上高、経常利益、当期利益とも当初の予想を達成できる見込みであります。

(3)ご 参 考 前期の実績(平成11年4月1日~平成12年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当 期 利 益 |
|-------|--------|---------|---------|
| 中 間 期 | 18,706 | 2,331 | 2,201 |
| 通 期 | 36,896 | 4,590 | 4,236 |

以 上